



向陽

066-0057 千歳市若草5丁目一番地 28-2111

<学校教育目標>

- すすんで考える子
 - すなおで思いやりのある子
 - ねばり強くやりぬく子
 - たくましい子
- 令和6年2月29日発行



勇気を出して かいっぱいのチャレンジ!

校長 久々江 貴志

今年度も残すところ1ヶ月となりました。冬休み明けは、大雪や気温上昇等の影響でスケート学習の回数は満足のものではありませんでしたが、子どもたちは寒さに負けず元気に楽しく滑っている姿が見られました。放課後も滑りに来る子もいて、冬場の体力作りにもつながっていると感じました。スケート記録会では、自己記録の更新を目指して最後まであきらめずにどの子も精一杯がんばっていた姿が印象的でした。当日はたくさんの方々にご観に来ていただきありがとうございます。子どもたちも励みになったことと思います。



さて、後期の後半は一年間の集大成として学習のまとめに力を入れ、学力の定着度を高める重要な時期です。学校では、各学年の到達目標の達成を目指し、今の学年で身に付けておくべき力を確実に身に付け、自信をもって進級できるよう取り組んでおります。

2月7日(水)に5、6年生合同で、新千歳空港に出かけ、これまで外国語の学習で学んできた成果を活かし、北海道に訪れた外国人に英語でインタビューをする「空港チャレンジ」という活動を行いました。5、6年生が1グループ7~8名のチームをつくり、突撃インタビューを敢行しました。どのグループも6年生がリーダーシップをとりながら5年生と協力して頑張っていました。私が同行したグループは、アメリカ合衆国とオーストラリアから来た観光客で、子どもたちの質問や千歳市のPRをきちんと聞いてくれ、やさしく対応してくれました。子どもたちも緊張感がありながらも堂々と話しかける姿は大変立派でした。



6年生においては、3月19日(火)に卒業証書授与式を予定しております。今年度の卒業式は感染症対策に留意しながらではありますが、来賓、在校生も参加するスタイルに戻して執り行う計画です。

思い出に残るような心のこもった卒業式にしたいと思っておりますので、子どもたちの未来への巣立ちを支えていただけますよう、よろしくお願いいたします。



祝!! 学校だより「向陽」600号

1982年(昭和57年)4月の開校時に、「第1号」を発行した学校だより「向陽」が、約42年の年月を経て、「第600号」発行までたどりつきました。今後も、700号、800号・・・1000号と発行が続くことを願っております。今後も、学校長の考え、子どもたちのがんばりの様子、保護者や地域の方々の、学校へのご協力等の様子を伝えていきます。



3月の行事予定

日	曜日	令和5年度 学校行事 2023年度
1	金	後期委員会(反省) 清掃強化月間 図書貸出終了 PTA役員会・運営委員会
2	土	
3	日	
4	月	卒業式練習(6年)
5	火	
6	水	外部講師による国際理解授業6年 フッ化物洗口
7	木	卒業式練習 祝い給食6年
8	金	図書返却終了 スクールカウンセラー来校
9	土	
10	日	
11	月	外部講師による国際理解授業6年
12	火	卒業式練習
13	水	卒業式総練習 フッ化物洗口
14	木	
15	金	大掃除(6年)
16	土	
17	日	
18	月	卒業式練習 学級文庫回収(6年)
19	火	第42回卒業証書授与式 午前授業 給食なし
20	水	春分の日
21	木	卒業式後片づけ(4・5年)
22	金	本の森閉館 学級文庫回収(1~5年) 大掃除(あおぞら、1~5年)
23	土	
24	日	
25	月	B4日課 給食なし 下校11:55 修了式、離任式
26	火	春休み(~4月5日(金)まで)
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

向陽台中学校 オープンスクール

1月25日(木)に、向陽台小、泉沢小の6年生とその保護者が向陽台中学校に行き、「学校説明会」を実施する予定でしたが、その日の天候が吹雪でひどく、6年生と保護者が中学校に行くのが中止になりました。その代替措置として、6年生には、25日当日、中学校の先生に、リモートで中学校での学習や生活等について説明していただきました。保護者に向けては、2月15日(木)の6年生の参観授業後の懇談会に、中学校の先生に小学校まで来ていただき、説明していただきました。



6年生を送る会

2月22日(木)に「6年生を送る会」が行われました。今年度は、全校児童が体育館に集まり、対面で行う形をとりました。初めに全校児童で「向陽っ子の歌」を歌った後、1~5年生の各学年の発表を行いました。どの学年も、6年生への感謝の気持ちをこめた発表でした。6年生にメッセージをしてあげたり、ダンスの披露、歌の発表、クイズを出したりなど、様々な発表がありました。6年生もそのお礼に「向陽レンジャー」という、6年生の子どもたちで考えた寸劇を披露しました。とても心のあたたまる会でした。



第42回 卒業証書授与式

3月19日(火)に行われます。久しぶりに1~5年生までの在校生も参加し、全校で6年生の卒業を祝います。6年生にとっては、人生のステージの一区切りです。立派な態度でがんばります。

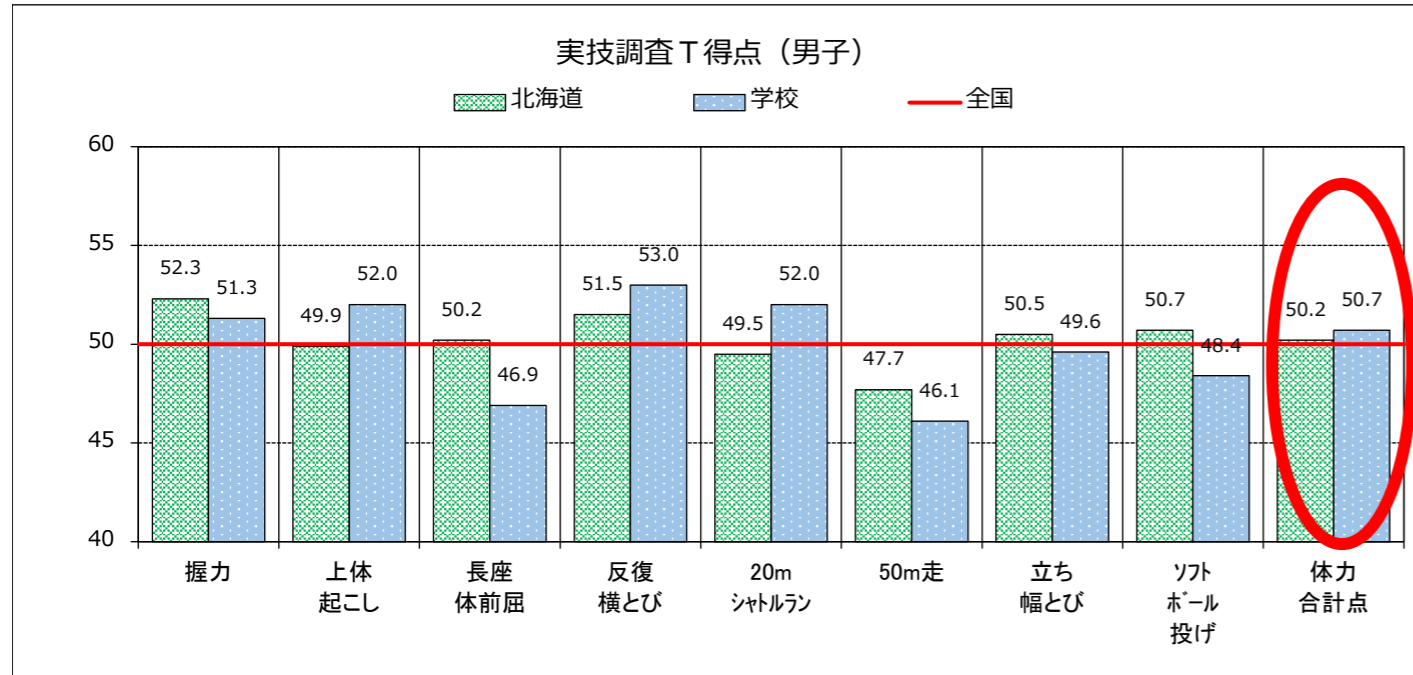


令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果と対策

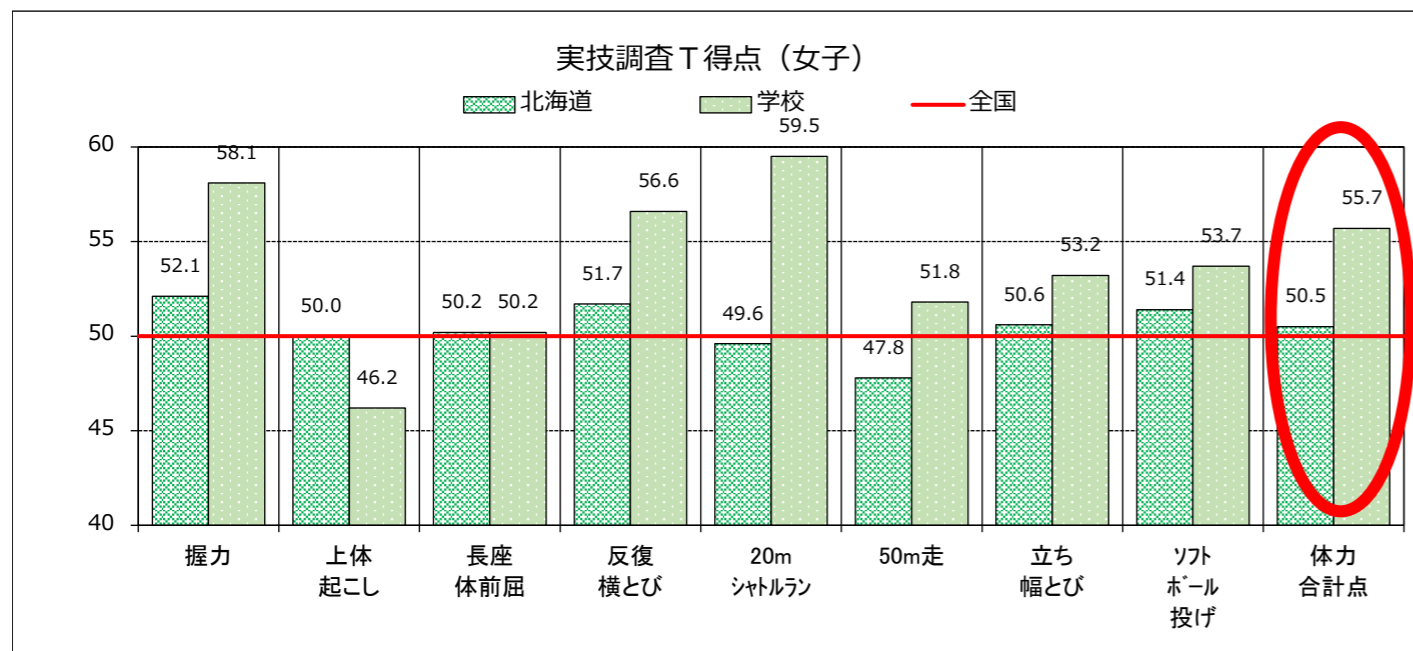
今年度の5年生児童を対象に行われた全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が、スポーツ庁から送付されました。体力・運動能力については、8種目のテスト（新体力テスト）を実施しましたが、本校児童の結果につきまして、以下にご報告致します。そして、今後の対策も考えましたので実践していきます。

「実技調査T得点」全国平均値（50点）に対する相対的な位置を示しています。T得点を基準に、北海道と本校の平均得点を棒グラフで表しています。

【令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査】男子



【令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査】女子



【令和5年度 向陽台小の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から】

①実技調査の結果（T得点）

男子 「長座体前屈」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」が全国平均を下回った。一方、体力合計点は、全国平均をわずかに上回った。

女子 全国平均を下回っているのは「上体起こし」のみである。体力合計点は全国平均を大きく上回っている。

②児童質問紙の主だった質問の結果（抜粋）

（1）運動や体力への関心に関わる質問

- ① 運動やスポーツをすることは好きですか→男子・女子とも8割以上が「好き」「やや好き」を回答し、全国平均と同じ程度。
- ② あなたにとって運動やスポーツは大切なものですか→男子・女子とも8割以上が「大切」「やや大切」を回答しているものの、全国平均よりはやや下回る。
- ③ 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか→男子は8割以上、女子は7割弱が「思う」または「そう思う」を回答。男子は全国をやや上回るが、女子は2割弱下回る。

（2）生活習慣に関わる質問

- ① 朝食は毎日食べますか（休みの日も含む）→「毎日食べる」は、男子が7割強で全国をやや下回るものの、女子は10割の回答で全国を大きく上回る。
- ② 毎日どのくらい寝ていますか→男子、女子とも「9時間以上」が7割程度で、全国を大きく上回る。

（3）体育の学習に関わる質問

- ① 体育の授業は楽しいですか→男子・女子ともに8割以上が「楽しい」または「やや楽しい」と回答しているが、全国平均よりは下回る。
- ② 体育の授業では、進んで学習に参加していますか→男子・女子ともに8割以上が「いつも進んで学習に参加している」または「だいたい進んで学習に参加している」を回答しているが、全国を下回る。
- ③ 体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか→「いつもある」または「だいたいある」の回答が、男子は7割強で全国をやや下回るが、女子は10割で全国を大きく上回る。

【考察】運動や体育への関心は概ね高いこと、食事や睡眠がとれていることが特徴で、実技点でも男女ともに合計点が全国を上回っている。今後は、体育の学習に進んで取り組む意識をより向上させたり、体を動かすことが楽しいという気持ちを高めたりしていきたいと考える。

令和6年度の「体力向上」の取組

（1）体力の向上に向けた取組の継続

- ① 令和6年度版の体力向上プランを作成し、それに基づいた実践を行う。また、必要な見直しを行う。
- ② 体力を高める運動の充実～体づくり運動やコーディネーション運動などに継続して取り組む。また、体力テストの内容や記録を活用した学習を行う。運動への興味・関心を高められるよう学習を進める。
- ③ 行事との連携を図り、体力の向上を図る～運動会、スケート記録会など。

（2）運動に親しみを持ち、仲間とともに継続して取り組もうとする態度の育成

- ① 児童が自主的に遊ぶことのできる環境づくり～ドッジボールコートやサッカーゴールなどの設置。
- ② 体力の向上に関心を持ち、主体的に運動に取り組むことのできる場を設置する～「向小きたえルーム」の取組、握力測定器の設置、一校一実践（向陽っ子元気アップチャレンジ・スケート）など。
- ③ 児童会活動により生まれた体育的な企画の推進。

（3）望ましい生活習慣の推進に向けた取組の充実

- ① 保健に関する取組の継続～生活リズムチェックシートの活用や体力・健康への関心を高める取組。
- ② 食育に関する学習の充実～栄養教諭による食の指導の実施や、日常の指導の継続。
- ③ 望ましい生活習慣の家庭への啓発（ホームページ、学校だより、学級だより、保健だより等）。